

節目の年に華々しく

ホルスタイン共進会開催



第68回町ホルスタイン共進会は9月23日、くずまき高原牧場チャレンジハウスで開催されました。

同共進会はコロナ禍で令和2年は中止、昨年は規模を縮小しての開催でしたが、乳牛導入130周年の節目を迎えた今年は65頭が出品し、華々しく開催されました。

鈴木重男町長は「130年にわたり、先人が数々の困難を乗り越えてきました。歴史を次代につなぐことを使命とし、酪農を志す人が誕生するよう機会にしましょう」とあいさつしました。

審査員の山火裕司さん（一戸町）が出品牛の資質能力を慎重に審査した結果、未經産牛の部では(株)GRFホルスタインズ（折元大樹代表）が、経産牛の部では(株)Peace Valley Dalry（八幡勝幸代

表）がそれぞれ名誉賞に輝きました。

ジュニアの部では、初挑戦でベストリードマン賞に輝いた上野櫻斗さん（五日市小1年）が「牛を優しく引いたらうまくできた」と笑顔を見せていました。また、乳牛導入130周年記念企画として、長年共進会で活躍してきた50歳以上の農家6人が、リードマンとして「レジェンドの部」に出場。川崎美由起さん（遠矢場）は「久しぶりのリードマンで気持ちが若返った。後輩には、町内外の生産者と積極的に交流して酪農を盛り上げて欲しい」と期待を寄せていました。

閉会式では、来賓の広瀬めぐみ参議院議員が「栄えある賞の受賞、おめでとうございます。町の酪農のさらなる発展を祈ります」と祝辞を述べました。また、菊池政洋審査長（盛岡広域振興局技監兼農政部長）が「出品牛はみな資質に優れており、130年の乳牛改良の成果と高い飼養管理技術が現れている」と高く評価し、節目の年にふさわしい大会となりました。



①会場に堂々と並ぶ出品牛と審査を行う山火裕司審査員（胸に白いリボン）②息を合わせて牛をリードする子どもたち③磨き上げた牛を悠々と歩かせる生産者④経験豊富な農家の皆さんがレジェンドとしてリードマンに

▶名誉賞（未經産牛の部）

(株)GRFホルスタインズ
折元大樹 さん

130周年の記念の大会で名誉賞と準名誉賞をいただくことができ、家族に感謝しています。これからも受精卵の導入など改良に努めていきます。



▶名誉賞（経産牛の部）

(株)Peace Valley Dalry
八幡勝幸 さん

酪農を取り巻く厳しい状況に負けることなく、今後も改良に励み経営努力を続けていきます。130年の乳牛の歴史を築いてくれた先人に感謝します。



▶各部の1等受賞者（敬称略、★名誉賞、★準名誉賞）

区分	部別	出品者
未經産	ジュニアの部	(株)GRFホルスタインズ（遠矢場）
	第1部	★(株)GRFホルスタインズ（遠矢場）
	第2部	★(株)GRFホルスタインズ（遠矢場）
	第3部	(株)GRFホルスタインズ（遠矢場）
	第4部	中村 大地（橋場）
経産	第5部	中六角 保広（江刈）
	第6部	（一社）葛巻町畜産開発公社（土谷川）
	第7部	中村 大地（橋場）
	第8部	今待 秀幸（四日市）
	第9部	★(株)Peace Valley Dalry（星野）
	第10部	★漆眞下 恵（大沢）
牛群	第11部	(株)Peace Valley Dalry（星野）

第66回岩手県畜産共進会ホルスタイン種

松浦陽治さん名誉賞に輝く

第66回岩手県畜産共進会のホルスタイン種（県畜産協会主催）は9月1日、県中央家畜市場（雫石町）で開催され、未經産牛の第5部（生後21、24か月未満）で1等を獲得した松浦陽治さん（江刈馬淵）の所有牛が、未經産牛の部の名誉賞に輝きました。

松浦さんは「酪農業界は厳しい状況ですが、共進会を一つの張り合いにして頑張っていこうと思います」と話していました。

また、経産牛の部では、第10部（5歳以上）で1等を獲得した漆眞下恵さん（大沢）

▼今待秀幸（第8部2等1席）

▼(株)Peace Valley Dalry（第7部2等2席、第9部2等2席）

▼(株)GRFホルスタインズ（第4部2等2席）

▼(株)Peace Valley Dalry（第7部2等2席、第9部2等2席）

▼今待秀幸（第8部2等1席）



名誉賞のカップを手にした松浦陽治さんと、出品牛グローバルサイドキックマリソール号

